

令和7年度第1回厚木市学校給食センター運営委員会会議録

会議主管課 教育部学校給食課
会議開催日時 令和7年7月2日（水）午前10時30分～午前11時30分
会議開催場所 厚木市北部学校給食センター2階 会議室
出席者 厚木市学校給食センター運営委員会委員12人
教育部長及び学校給食課職員8人
司会 学校給食課長
説明者 学校給食課職員

委嘱状交付式
委嘱状交付
あいさつ 佐後教育長

会議経過は、以下のとおり。

1 開会

委員及び事務局の紹介、資料確認
厚木市学校給食センター運営委員会について（参考資料1及び2に基づき説明）

2 会長及び副会長の選出

- （1）会長の選出
会長に大田垣委員（相川小学校校長）を選出
会長 あいさつ
- （2）副会長の選出
副会長に平野委員（玉川中学校PTA役員）を選出

3 案件

以下、大田垣会長により議事進行
委員からの質疑、意見及び事務局の説明は次のとおり

- （1）附属機関における会議録の形式について 【資料1】
発言者の氏名は、記載した形で公表、発言内容は、要約記載とすることで全員同意
- （2）令和7年度学校給食に係る実施計画について 【資料2】
伊藤委員 学校給食の実施予定について、6年度と比較して大幅な変更はあるのか。
事務局 令和6年度との比較については、大幅な変更はない。
令和6年度については、市制70周年を記念した献立としている。
令和7年度については、通常の市制記念日の献立となる。
給食の実施回数については、令和6年度と同じである。
- （3）令和7年度学校給食用物資納入登録業者について 【資料3】
伊藤委員 納入業者の中に使わない業者はあるのか。
事務局 学校給食会が指定した業者については、使わないということはない。
納入登録業者21者については、見積合せを行い、落札業者から納入して

いるので、発注がない業者もありえる。

大田垣会長 見積合せから落札業者が決定されるまでのプロセスについて説明を求める。

事務局 青果、精肉、卵については、各学校から翌月に使用する数量が報告され、その数量を基に、各登録業者に見積を依頼し、最も価格の低い業者に決定している。

加工食品については、学校の先生やPTAの方が委員となる物資選定委員会において、価格だけではなく、学校給食用物資として適しているかを判断し、選定の上、決定している。

大澤委員 登録業者はどのような基準で決めているのか。

事務局 基準については、

- ・給食施設と適宜連絡の上、適切な納入が可能であること。
- ・品質管理が確実に行われ、施設や設備等の衛生管理が徹底されていること。また、衛生食品業者にあつては、保健所の監視成績が優良であること。
- ・確実な取引先を有し、仕入れ及び製造、加工能力等があり、学校給食の実施に必要な数量を供給できること。
- ・給食施設が指定した方法、期日、時刻及び場所に納入できる配送能力を有していること。

これらを基準とし、必要に応じて現地調査を実施した上で決定している。

大澤委員 業者の入れ替りは、どのくらいあるのか。

事務局 業者の入れ替りについては、市内の小売業者が多く、後継者問題等から撤退される業者もあり、減少傾向にあるので、市外の業者にも参入いただき、減った分を入れ替えている状況である。

大田垣会長 食品偽装などの報道もあるので、業者とは、連絡連携を取っていただいて、引き続き進めていただきたい。

(4) 学校給食費について

【資料4】

事務局 資料にはないが、事務局から学校給食費の見直しについて、意見をいただきたい。

現在、一食当たりの給食食材費は、小学校270円、中学校330円となっているが、物価高による食材の高騰など、実際の4、5月分の食材費については、小学校286円、中学校346円程度となっている。

不足分については、補正予算で対応したいと考えているが、消費者物価指数の動向や今後値上げされる商品についても多く報道されている。

栄養価を満たした給食を提供していくためには、給食費の値上げを検討していかなければならないと考えているので、委員の意見を聞かせていただきたい。

伊藤委員 給食費が無償になったのは、令和6年度からか。

事務局 給食費の無償化は、令和6年4月から実施しているが、教職員や生活保護利用者からは、給食費をいただいているので、収入額となっている。

伊藤委員 未収分については、今後も徴収していくということか。
事務局 引き続き徴収していく。

伊藤委員 給食費が上がるのは、しょうがないと思っているので、おいしい給食を生徒に提供してもらいたい。

大田垣会長 参考までに公会計になっているのは、県内でどのくらいあるのか。
事務局 令和6年度末で、33市町村のうち20市町村となっている。

大田垣会長 無償化についてはどうか。
事務局 厚木市を入れて6市町村となっている。

大田垣会長 今年度は、補正予算ということだが、来年度は、値上げ分も確保した上で予算化するということか。
事務局 学校給食費については、教職員や生活保護利用者からいただいている分があり、条例施行規則で基準を決めているので、条例施行規則で定める学校給食費の額を見直していきたいと考えている。

大澤委員 今の給食費の額を見ると、かなり努力をされていると感じる。
どの程度の値上げが必要なのか、具体的な金額はあるか。
事務局 4月から6月に提供した給食について、給食費を考えずに満足のいく給食を提供した場合について試算したところ、小学校でプラス60円、中学校でプラス70円程度が必要となったので、そういったところも踏まえて、来年度以降の給食費の額について検討していく。

大田垣会長 今後の給食費については、運営委員会の委員からの意見を踏まえて、是非、安心・安全な給食を提供できるよう交渉していただきたい。

4 その他

5 閉会 副会長

会議終了後、北部学校給食センター紹介ビデオを視聴した後、中学校給食を試食して終了